

故郷（ふるさと）野付の自然 28

野付半島に、珍しい冬鳥達が来ています



一時は、絶滅したと考えられていた水鳥のシジュウカラガンでしたが、千島列島の中部の小さな島で、生息している事が確認され、長い間、ロシアと日本の研究機関がその保護増殖に取り組んで来ました。

その結果、近年は 2,500 羽までその数が増えてきました。個体数の増加と共に、渡りのルートである野付半島でもその姿を観察する機会が増えてきました。

今年は、12月に野付半島の先端の干潟に、20羽のシジュウカラガンがその姿を見せてくれました。今後、もっとたくさんのシジュウカラガンが来てくれる良いですね。また、猛禽の仲間のハイイロチュウヒも今年は野付ネイチャーセンター前に来ています。その美しい姿は、鳥好きの中でも人気があります。

